

歌ノレ노래 152

『ポジャンマチャ』(布帳馬車)

山根 俊郎

大衆歌謡『ポジャンマチャ』(포장마차・布帳馬車=幌馬車 作詞キム・ミソン(김미선) 作曲キム・ジェイル(김재일) 歌玄淑(히온स्क 현숙)制作82年4月25日 ソウル音盤)は、玄淑の第4集である「玄淑 1982 歌謡・ポップソング」のA面2曲目に収められて、当時の経済発展を担う労働者や会社員が手軽に安く酒を飲める屋台であるポジャンマチャの人気と相まって82年秋に大ヒットした。また、この歌のヒットのお陰で雄大な西部劇を連想させる幌馬車(ポジャンマチャ)という粋な名称が韓国社会に定着したのでは?

国語辞典では次のように説明している。

ポジャンマチャ: 手押し車などに4本の柱を立てて布帳(天幕)で囲って作った移動式簡易酒店。主に、夜に道端や空地でうどん(ククス=국수)、焼酎、酒のつまみなどを売る。

♪ナーナーナナナ

土塀の夜の帳にもたれるポジャンマチャ
 あなたも友だち 私も友だち
 偶然に会って 仲の良い友だちになるポ
 ジャンマチャ ポジャンマチャ
 あ〜温かい微笑
 あ〜温かい人情
 あ〜あ〜あ〜あ〜
 楽しくて大声で歌う人々 ヤヤヤー
 つらくて涙ぐむ人々 ヤヤヤー
 ぶつける酒杯に 流れる星を見て 空を飲む
 人生の青い夢が広がるポジャンマチャ
 ナーナーナナナ

『世光 大衆歌謡』NO. 121 1982年12月30日 発行 世光出版社 P3 にグラビアの記事が載せられている。「玄淑 ‘ポジャンマチャ’ で爆発的な人気—玄淑は ‘ポジャンマチャ’ を吹き込むために 10 余回も実際にポジャンマチャに通い、飲めない焼酎を飲み、楽しく歌う人、つらくて涙ぐむ人を見て雰囲気をつ

かんだ、という。玄淑は80年に‘本当に’(정말로)でツイストダンスを流行させて、81年には‘粋な人’(멋쟁이)で馬の鞭(말채찍)?ダンスを披露するなど発表する歌ごとに特色を見せている」ちなみに玄淑は、上記の2曲のヒットで年末恒例のMBC 10大歌手賞に80年、81年と2年連続して選ばれた。



音楽雑誌『大衆歌謡』(世光出版社)のヒットチャートでは、『ポジャンマチャ』は82年8/31=19位、10/31=3位、12/25=3位と82年秋から冬にかけて大ヒットした。そもそも居酒屋としてのポジャンマチャは、寒い季節に人気があるのも作用したのかな?

孝女歌手 玄淑(ヒョンスク)

歌手玄淑の人気度も12/25=6位まで上昇した。人気歌手ベスト10(82年12/25現在)1位趙容弼(男性)、2位李龍(男性)、3位南宮玉粉(女性)、4位ソングルメ(男性グループ)、5位桂銀淑(女性)、6位玄淑(女性)、7位羅勳兒(男性)、8位尹シネ(女性)、9位全永祿(男性)、10位韓敬愛(女性)。

玄淑(ヒョンスク)は本名チョン・ヒョンスク 1959年5月17日(陰暦・陽暦では7月1日)生まれ。全羅北道金堤女子高校卒業。デビュー曲の1979年5月『他国にいらっしやるお父さんに』(타국에 계신 아버지께)がヒットした。当時、中東に派遣された労働者たちは、この歌のテープを聞いて韓国の家族を想い涙したという。玄淑は、コケテッシュな笑顔とハスキーな歌声で大衆を魅了してきた。玄淑の人気の理由は、有名な孝行娘=孝女という韓国人がもっとも大切にしている親孝行(孝道)を実践してきた点である。12人兄

弟の末っ子である玄淑は嫁にも行かずに大好きな母親に仕えて尊敬されてきた。しかし、その母親・金順愛さんも中風で倒れて意識を失い14年間、漢陽大学病院で闘病生活の末に07年6月29日に死去した。歌手玄淑は、今やトロットでは中堅歌手である。2010年3月現在まで総合33枚のアルバムを発表している。(正規14枚、非正規3枚、参与16枚)

＜玄淑の主なヒット曲＞

79年『他国にいらっしやるお父さんに』

(타국에 계신 아버지에게)

『仲良く二人で』 (정답게 둘이서)

80年『本当に』 (정말로)

81年『粹な人』 (멋쟁이)

82年『ポジャンマチャ』 (포장마차)

84年『乾坤坎離 青紅白』 (건곤坎리 청홍백)

95年『愛する英子さん』 사랑하는 영자(英子)씨

97年『今時の女 今時の男』 요즘여자 요즘남자

99年『ハッピーデイ』 (해피데이)

00年『好き好き』 (좋아 좋아) 『愛は』 (사랑은)

01年『友だちから恋人へ』 친구에서 애인으로

02年『私のオモニム』 (나의 머님), 『お兄さんは元気だ』 (오빠는 잘 있단다)

04年『踊るタンバリン』 (춤추는 텀버린)

06年『月火水木金土日』 (월화수목금토일)

09年『水玉のネクタイ』 (물방울 넥타이)

労働者詩人 朴 (パク) ノへ

80～90年代の代表的な労働者詩人 朴 (パク) ノへは‘ポジャンマチャ’の詩で工場労働者の生を力強く歌った。プルピッ (草の光) 版画詩選5 朴ノへ詩集「労働の夜明け」P 38～P41 プルピッ (草の光) 出版社84年9月25日発行。朴ノへが27歳の1984年に出版したこの詩集「労働の夜明け」は多くの若者の共感を呼び、1993年までに43刷も重版された韓国民衆文学史で記念碑的な作品。朴ノへは、1957年全羅南道生まれ。労働者として労働運動・統一運動に万進する。詩作に励み社会主義を志向し91年に「南韓社会主義労働者同盟事件」で拘束され国家保安法違反

により無期懲役を宣告され慶州矯導所で7年5ヶ月の獄中生活を送った後、金大中政権の98年8月15日に特別赦免、釈放された。第2詩集「真の始まり」(93年刊行)、第3詩集「人間こそ希望」(97年刊行)の獄中詩集も発表した。2010年1月7日～28日に朴ノへは10年間、平和活動で訪問したイラク、パレスチナ、レバノン等中東地域の貧困と紛争現場を撮影した写真白黒4万点余の中から37点を展示する中東写真展「ラ・クァンヤ」をソウル市中区のギャラリーMで開催した。

詩 ポジャンマチャ 朴ノへ

砂に芽が出たのか

社長が子を孕んだか

この良い土曜日に残業がないという

イタリー タオルで油まみれの手を磨いて

作業服を着替えてタバコを一本啣えれば

トゥドゥンシル 風船のように心が軽くなり

誰が言うでもなく 一杯やろうと

工場裏のポジャンマチャのカーテンを開く

焼酒派とマッコリ派に分かれて

多数決でガマガエル (真露) に統一される

初の娘が産まれた金兄が コムチャンオ (ヌタウナギ) を焼いてもらおうと

新婚の張兄も負けじと 精力に良いナマコを一皿注文する

資格証試験に受かり 号俵が上がった文兄が 気分がよいと豚足を二つおごり

ずらりと並んだつまみにおのずと酒のピッチがあがる

夜明けに立たない奴に金を貸すなど言うが 残業に疲れて 夜明けに立つ気配もない

一週間もご無沙汰で 妻のあそこにカビが生えるとくすくす笑い

新婚一カ月の鄭兄 新婦の福々しいヒップの形が息子を産む相だと

左右三三 一深九浅 金兄が5段階ノウハウを伝授すると

へえ～口をぽかんとあける奴 深刻な奴 くすくす笑う奴

一杯 二杯と酒杯が回るたびに

われらは溶けて 一つになっていく

宋兄は文兄に感情のもつれを解く和解酒を
請い

徐氏は電気課の朴兄との気まずい誤解をぶ
ちまけて

盧氏は往年の景気の良かった頃の話を始め
調子を合わせて金兄は 満州で犬を売る商売
で儲けて 独立運動をしたという大ボラ話で
氣勢を上げれば

釜山チャガルチ孔兄が

ヤーヤー もうやめとけ 百回目だ

俺が一曲 歌うのに

お前ら拍手もしないのか

豆満江に櫓をこいで (『涙に濡れる豆満江』
金貞九 38年) 五六島を廻り (『釜山港に帰
れ』趙容弼 76年) れんぎょう娘 (『ケナリ
チョニヨ』崔淑子 58年) 憎い 憎い (『ミ
ウオ ミウオ ミウオ』趙容弼 80年) 泣いて
越えるパクタルチュ (『泣いて越えるパクタ
ル峠』朴載弘 48年) 足先を振り向けて (『僕
は本当に知らなかった』崔丙傑 78年)

はしを叩いて やかんのフタをドラムに見立
てて 肩を揺らして お尻が上下に

クンタラ タッタ チョコ チョッコ

英子よ つまみを ひと サラ (皿・日本語)

持ってきてくれ〜 イ〜ン

二次会に行こう 家に帰ろう ゴーゴー場
(ディスコ) に行こう となり

抜け目のないシン氏が潰れてしまい

一本 二本飲み干すと 酔いが回り

チョ (姦・チンポ) のような労務課長

常務のセキ (새끼・ガキ)

チョッパリ (쪽발이・‘日本人’の蔑称) 社

長のノム (놈・奴) 労使協議会のノムドゥ

ル (놈들・奴ら) をぶち壊そう

抑えていたうっぶんが噴き出る

文兄は奸臣のチャシク (자식・野郎) を覚醒

させなければ と顔を赤らめて

鄭兄は 段階的に構内食堂からは正しようと

ぼそっとささやく

商業高校を卒業してキルムジェンイ (油まみ

れの工員) になった会計担当の金兄はウエー

サン (외상・ツケ) の帳簿を計算する

冷水をどんぶりに回し飲みして

立ち込めた煙の中 ポジャンマチャを出れば
肩を組んでフラフラと

一列横隊に並んで塙の壁に小便をすれば

シーバル (씨발・畜生) 明日も休日特勤だ

リヤカー商人を呼びとめて イチゴを千ウォ

ン買い ズボンのポケットにぶらさげて 別

れの手を振って 残業のない今日ぐらいは

トゥドウンシル 土曜日の夜 (『土曜日の夜』

金世煥 73年) を鼻歌で口ずさんで

妻が待つ家に向かう

ポジャンマチャのメニュー

パソコンで韓国旅行ガイド ソウルナビで
08. 1. 25 に「いろいろなポジャンマチャ (屋台)
に行ってきました!」という記事がある。

<http://www.seoulnavi.com/special/5000695>

江北では南大門市場と鍾路 (移転した?) の
‘古典的’ なポジャンマチャを訪問している。

江南では広い「室内ポジャンマチャ」がある。

メニューは①「粉食類」、②「つまみ (アン

ジユ) 類」、③「海鮮類」に分かれている。

①「粉食類」: うどん、チャンチ (宴会) ク

クス、おでん、キムパプ (海苔巻)、トッポ

キ、チャプサル スンデ (もち米の豚の腸詰)、

チャプチュ ポクム (春雨炒め)、日本で言

うチヂミの海鮮パジョン、キムチジョン、プ

チュジョン。ティギム (天ぷら)、ホンハブ

タン=冬に人気のムール貝のスープ、②「つ

まみ (アンジユ) 類」: コムチャンオ ポク

ム (ヌタウナギの炒め物)、コプチャンポク

ム (ホルモンの炒め物)、オドルピョ (豚の

軟骨の炒め物) =私も 06年7月に釜山で食べ

た。テジ コプテギ (豚の皮の炒め物) ピョ

オムヌンタクパル (骨なし鶏の足)、タクコ

チ (焼き鳥)、タク トンチプ (鶏の砂ズリ)、

ツクミ ポクム (イイダコの炒め物)、コチセ

ウ (エビの串焼き)、ウンヘン クイ (ぎん

なん焼き)、忘れちゃいけない基本はケラン

マリ (卵焼き)、③「海鮮類」: サンナクチ

(生だこの刺身)、モンエ (ホヤ) はあるの?

いずれも約1万ウォン。焼酎は3000ウォン。

楽譜: 『世光 大衆歌謡』 NO. 120 P98, 99

1982年10月30日 世光出版社 発行(終)